



(特非) A SEED JAPAN

普及啓発・人材育成・国内外ネットワーク 構築を通じた、若者による持続可能な 社会構築に向けた金融システムづくり

一般助成

3年目

知識の提供・
普及啓発

金融機関のスコア改訂に
合わせ、対象金融機関と
個別に対話を行う

5行

シンポジウム
(東京・京都)の参加者数

76人

活動の全体目標に
対する達成度

70%

課題

現在、自然環境破壊や気候変動問題に加担する事業へ多額の投融資が行われており、金融機関に規制が無く、銀行を選ぶ立場の預金者にもそうした意識が及んでいない状況。

目標

①団体内でコアメンバーを20名以上育てる。②社会問題の解決のために、金融というアプローチが他NGOで認知されている。③教育現場等にFFGが組み込まれる。④金融機関が投融資方針を20ポイント改善する。

活動内容

大手民間銀行7行に対して「環境に配慮した投融資方針」の策定を求めた。Webサイト「Fair Finance Guide (FFG) Japan」の中で銀行を「社会性」という観点で格付けし、公開。各地でセミナーを開催、野外イベントへの出展や海外ゲストを招いたシンポジウムの開催、教育機関で配布できるような冊子の作成を行った。また、社会問題と金融機関との関係性を調査したレポートも発行し、その普及に努めた。



スウェーデンのNGOを
招いてシンポジウム

達成できなかったこと

Webアクセス数10万件、メッセージ数1,000件に届かなかった。金融関心層へのリーチにより多くの認知・共感を得たが、実際に行動に移す層への働きかけが弱かった。

今後の展望

日本及び途上国でのエネルギー事業における環境問題を解決するため、金融機関への働きかけを続ける。

成果と工夫した ポイント



成果

大手銀行の「社会性」格付スコア合計は最大22、平均8.2ポイント上昇。メッセージ数は406件、Webアクセス数は約50,000件、Facebookいいね数は4,500件超。メディア20件以上に掲載。

工夫

社会的注目の集まるタイミングをかんがみてケース調査を発表し、それに合わせてセミナー・イベントを開催した。